

畑 峰雄 氏

今後パンフレットを準備しと峰雄氏も笑顔をみせます

って、本業にも力が入ります_

人との出会いや夢が広が

とても励みになります

いとや提灯店

http://itoya-chouchin.jp/

所 在 地:坂井市三国町南本町2丁目3-29

電話番号:0776-81-3574 代表者:畑峰雄氏

従業員数:3名

事業内容:提灯製造、販売、修理等



などから予約も順調に入って体験工房は子供会や観光客 がプロデュー

として活躍する兄 ユーや飲み物を楽しめま気軽に地産地消のフード ・スし たカフェ



いる模様。

「体験の感想も

トに残していただいていま

絵付け体験の感想を残したノート。感謝の言葉が 励みになると言います。

この事業を活かしました

商品、サービスを提供する方

店舗改装、設備導入にかかる経費等 補助率: 2/3以内(上限300万円以内)

※採択数により変更する場合がございます。

ふるさと産業支援部 資金支援グループ

TEL: 0776-67-7406 FAX: 0776-67-7429

(公財)ふくい産業支援センター

応援します。

対象者

る方

対象経費

【お問い合わせ】

ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業

• 福井県内に主たる事業所を有する小規模企業者

県内小規模老舗企業の事業継続や地域に親しまれた商品、サービ

スの次世代への保存を図るため、老舗企業の新たなチャレンジを

・創業から30年以上を経過しており、主に一般消費者に対して

• 自社独自の商品を製造・加工・販売、サービスを提供されてい

さまざまな出会いも刺激に工房・カフェのオープン

レストランのオーナーシェフ改装。同じく三国でフレンチれば」との想いからカフェには「通りのにぎわいにつながは、通りのにぎわいにつなが えました。工房では三国祭でいはそのままに、水廻りなどいはそのままに、水廻りなどいに修繕され、天井梁や建具 いに修繕され、氏。地元工務店 飾られる提灯の歴史なども紹 困るほど」と振り返るまりや 初傷みが激しく「大工さんも 民家の蔵 地元工務店の努力できれ (明治期建立) は当 さらなる展開 地域に根付い 0)

しめる体験メニューや、越前灯の世界をさらに本格的に楽次の一手として、それら提 すまり うようになったと、 を絶や、 奥深さを語ります。 のに3年以上かかったとそ が好きで手は器用だったもの りの世界に入るきっかけを話 っるうち、「このまま歴空いた時間に店の手伝 .3年以上かかったとその一通りの工程を習得する や氏。元々ものづく したらあかんー の病院で 勤務 のまま歴史店の手伝い 提灯づく しな

布するなど裾野を広げていこ市内の保育園・幼稚園にも配 うと前向きです

た方の方 想に

41

ます た方々に感謝してい かったと思ってもらます。三国に来てよ きて協力いただい り定着させて 5年かけて 慌てず



今でも全て手描きにこだわった 同店の提灯。古い提灯から図柄 を写して1点1点仕上げていき

域にしっかりと根付かせていまずは体験工房とカフェを地氏。実現に向けた拠点として、きたいですね」と語るまりや

きたいと考えています

子。「ここはまず夢の第一歩いことはまだまだ尽きない様 ンの照明づくりなど、 ならではのオリジナルデザ 和紙とコラボした福井 叶えることが ルデザイ

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、 前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介

坂井市三国の地で、創業230年になる老舗提灯店のいとや。土台から絵付けまで一貫し た製造にこだわる同店が、このたび「ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業」の補助金を

看板代わりの巨大な提灯がポイント。写真左奥に改装した蔵が続きます。

です

ね。

になって長年やってきた成果

生かして蔵を改修し、2階を体験工房『三国提灯いとや工房』としてオープンさせました。 絵付け体験を指導する3代目の小島まりや氏と、同店の代表であり父の畑峰雄氏に、ここ に至る想いと取り組みについて伺いました。

も多くなり

ーやガラス、

雜貨店、

想いを峰雄氏は抱いて

多くなりましたし、ジェラ。「10年前に比べて人通りいを峰雄氏は抱いていま

気になるんです」と話す

、三国湊全体の活性化へのになるんです」と話すとおともって、通りが良い雰囲

がともって、

っています。

「夕方には灯り

てきました。三國會所が中心菜など若い世代のお店も増え

に残せるもの、親子で体験でけ体験でした。「思い出を形前から始めたのが提灯の絵付前から始めたのが提灯の絵付のになれればと、まりや氏が6年の店も街の活性化の一助に かなと考え始

カフェのインテリア。蔵の味わいを程よく残し、おしゃれで 落ち着く空間に。

補助金 申房 請へ ~0 の夢 挑

新たに設置された高さ約2 巨大な提灯。 一房へ改修し 石畳の街並み した蔵の 前に、 m

になじむ、

同工房の看板とな

のある銀行から提案されたのがありますよ」と、付き合いさんし ったこともあり、専門がは手狭な店先での体がは手狭な店先での体が します。 さんに、もってこい。 ンジ応援補助金でした。 工房はお二人の夢だったと話 ともあり、専用の体験、人数など制約が多か、火な店先での体験だっ そんな折、 で 「いとや のも 0

し、同店は夢の第一歩を踏みった計画は見事に審査をパスった計画は見事に審査をパスらいながら応募にこぎ着けま つ作のれ られ、 してみては』 作ると融資などにものがなかったですしれまで事業計画書とい 銀行さんにも手伝っても 今後のためにも一 同店は夢の第一歩を踏 』と背中を押さたがにも一度挑戦などにも役に立て、『一度 とや提灯店

提灯絵付ける

体験で地域を盛り上げる

14 **F-ACT** vol.24